



平成21年8月4日

国立大学法人神戸大学
学長 福田 秀樹

神戸大学：ポートアイランド進出 ―先端融合研究を推進―

今回の発表のポイント

- ポートアイランド地区において、神戸大学統合研究拠点（全学の先端融合研究を推進）を整備し、神戸大学の先端融合研究を、学外の研究機関、他大学、産業界と連携して展開する。
- ポートアイランド地区における産官学連携を神戸大学の先端融合研究が生み出すイノベーションの推進力とする。

- 神戸大学の特色として、部局間の研究融合を促進するため、現在の自然科学系先端融合研究環境の研究推進体制を、社会科学系、生命・医学系、人文・人間科学系と広げ、全学の統合研究拠点を構築する。この研究拠点が、我が国の大学における研究推進形態の卓越したプロトタイプとして、先導的研究成果を蓄積するとともに、国内外に対し情報発信を行う。
- ポートアイランド地区において、産学官連携拠点としての統合研究拠点の施設を整備し、先端融合研究を、学外の研究機関、他大学、産業界と連携して展開する。この際、学長のリーダーシップの下、部局の枠組みを越えた融合研究の実をあげる全学協力体制を構築し、大学全体としての取り組みを実現するとともに、部局間の連携を強化しつつ、全学の先端融合研究を推進する。さらに、理化学研究所の次世代スーパーコンピュータとの連携など、学外組織との産学官連携、学学連携等を効果的に推進して、ポートアイランド地区における中核的研究拠点とする。

1. ポートアイランド地区における全学の統合研究拠点の整備について

神戸大学は平成19年4月に自然科学系先端融合研究環を設置し、先端イノベーション融合研究を推進してきた。この自然科学系先端融合研究環の実績を、全学の4大学術系列（人文・人間科学系、社会科学系、自然科学系、生命・医学系）に拡張して、全学の先端融合研究を推進する目的で、今回、神戸大学統合研究拠点を整備することとした。

神戸大学が、科学技術イノベーション、社会イノベーション、人材イノベーション、政策イノベーションの全てに主導的な役割を果たすためには、学外との連携においてダイナミックなインタラクションの状態にあることが必須条件である。地理的な条件において、ポートアイランドは極めてダイナミックな連携拠点である。神戸大学の先端融合研究に参画する研究者は、周辺の学外諸機関と密接に連携を図ることにより、イノベーションの創出に大きく寄与することが期待される。このような先端融合研究の推進は、神戸大学の研究力を強化することとなり、神戸大学における卓越した教育力と社会貢献力に反映される。

神戸大学の統合研究拠点をポートアイランド地区に展開することにより、既存の研究プロジェクトを統括するとともに、神戸市の医療産業都市構想、グローバル産学官連携拠点事業、理化学研究所の次世代スーパーコンピュータとの連携など、広範な産業界を含む学外諸機関との連携協力を推進することが可能になる。また、産学官連携を核として、ポートアイランド地区の地域クラスターの形成に神戸大学として主体性を持って参画し、寄与できる。

このため神戸大学はポートアイランド地区においてイノベーション創出に向けた全学の先端融合研究を推進する。

2. 事業概要

☆ 敷地概要

(1) 所在地 神戸市中央区港島南町7丁目1番15の一部

※ ポートライナー「ポートアイランド南駅」前

(2) 面積 約2,500m²

(3) 契約内容 事業用借地権設定契約（神戸市より借地）

☆ 施設内容

延床面積4,000～5,000m²の神戸大学統合研究拠点の施設を建設

（平成23年度供用開始予定）

☆ 推進する重点研究の内容

- ・ 社会科学系と自然科学系の先端融合研究の推進
- ・ 生命・医学系と自然科学系の先端融合研究の推進
- ・ 人文・人間科学系、社会科学系、自然科学系及び生命・医学系の先端融合研究の推進
- ・ 神戸大学発の大型研究プロジェクトの推進
- ・ 外部機関等との連携を基盤とする計算科学に関する先端融合研究の推進

上記の重点項目について、今後、プロジェクトチームの構成、研究内容の詰めを行っていく。

[進出場所]

